

— ご 案 内 —

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成21年度

土壌・地下水汚染対策と浄化事例研修

法改正概要とパネルディスカッション形式により対策技術を学ぶ

主 催 社団法人 日本土木工業協会
財団法人 全国建設研修センター
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

平成21年4月、「土壌汚染対策法の一部を改正する法律」が公布されました。これにより、一定規模（3,000㎡）以上の土地形質変更時の届出や搬出土壤に関する管理票の交付及び保存の義務化、搬出土壤の処理業についての許可制度の新設などが法制化され、これまでも増して汚染土壤に対する適切な調査・処理・管理が国・地方自治体や民間事業者などに求められることとなります。

また、汚染土壤処理、地下水汚染防止対策の責任は土地所有者又は汚染原因者にありながら、新規事業あるいは更新・建替え事業において、土地や基礎地盤の改変作業を行う事業者及び施工会社が現場で直面し、汚染土壤処理や地下水汚染防止対策の実施をせまられる場合が数多く存在するのが実態であります。

本研修では、「土壌汚染対策法」の改正概要や自治体における取組み、リスクマネジメント及び汚染調査技術を学ぶとともに、汚染対策技術については、浄化事例を中心に汚染物質ごとにそれぞれ数名の講師にご登壇いただき、講義と受講される方々からの質疑を取り入れたパネルディスカッション形式で学んでいただきます。

○ 期 日 平成22年2月24日（水）～2月26日（金）（3日間）

○ 場 所 財団法人 全国建設研修センター
187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2 全国建設研修会館
TEL 042-324-5315 <http://www.jctc.jp/>

*（社）土木学会の継続教育（CPD）プログラム及び（社）土木施工管理技士会の継続教育（CPDS）プログラムに認定されていますので、受講者は所定の単位を取得することができます。

平成21年度 土壌・地下水汚染対策と浄化事例研修 実施要領

1. 目的

「土壌汚染対策法」改正後の施行状況や汚染調査技術等を学ぶとともに、浄化事例を中心に汚染物質ごとに土壌・地下水汚染対策技術を修得する。

また、共同生活による相互啓発、相互交流、情報交換を通じて、職場における業務の推進に資するものとする。

2. 対象職員

土壌・地下水汚染対策や浄化に携わる職員、又は汚染が想定される現場で対策を講じようとする業務に携わる職員

3. 募集人数 40名

4. 研修期間 平成22年 2月24日(水)～ 2月26日(金) 3日間 全寮制(通学を希望される方は、ご相談ください。)

5. 集合日時

2月24日(水)9時30分までに、研修会館にご集合ください。

※なお前日宿泊を希望される方は、21時までにご入館ください。

6. 教科目、講師及び研修場所(次頁以降参照)

7. 研修経費及び納入先

(1) 研修経費

研修会費	宿泊費	合計
69,000円	5,800円(2泊分)	74,800円
	前日宿泊者 8,700円(3泊分)	77,700円

※経費はすべて1人当たりの金額です。※研修会費、宿泊費には消費税を含んでおります。

(2) 研修経費納入先

三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316
財団法人 全国建設研修センター

フジタ シン
理事長 藤田 真

受講通知書到着後にお振り込みください。
振込手数料は、ご負担ください。
なお、経費別の納入及び当日持参も可

(参考) 食費は、隣接国土建設学院食堂(土・日・祝日は休み)を利用した場合、1日当たり1,400円(定食:朝400円、昼:450円、夕:550円)です。支払いは直接食堂へ。

8. 申込先及び問い合わせ先

財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当者 安孫子・菊地
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2 URL <http://www.jctc.jp/>

※申込は郵送、FAX、メールいずれでも受け付けております。

メールで申込みする場合は、申込書フォームをメールでご請求ください。

TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296 メールアドレス: uketuke@jctc.jp

9. 申込締切日 平成22年2月8日(月)

申込書にご記入のうえ、お早めにお申し込みください。(最終頁参照)

10. その他

(1) 筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、洗面具(タオル類等)及び雨具等をご持参ください。

(2) 研修受講中の服装及び履物は常識的なものを着用してください。

(3) 洗濯機、乾燥機、ドライヤー、石けん、シャンプー及び浴衣はございます。

(4) 室内履き(スリッパ等)が必要な方はご持参ください。

11. 駐車場はございません。

平成21年度 土壌・地下水汚染対策と浄化事例研修 時間割

講義日時	講義時間(分)	教科目名	講師
2/24 (水)	9:00 ~ 9:30 9:30 ~ 10:30	受付 開講の挨拶・オリエンテーション	—
	10:30 ~ 12:00	90 土壌汚染対策法改正後の概要と諸課題	環境省 水・大気環境局 土壌環境課 課長補佐 今野 憲太郎
	13:00 ~ 14:30	90 東京都における土壌・地下水汚染対策と法改正後の取組	東京都 環境局 環境改善部 化学物質対策課 土壌地下水汚染対策担当係長 松 永 康 治
	14:40 ~ 16:10	90 土壌・地下水汚染に関わるリスクマネジメント	株式会社インターリスク総研 コンサルティング第一部・製品安全・環境チーム 部長 木 下 弘 志
	16:20 ~ 17:50	90 土壌・地下水汚染調査技術	国際環境ソリューションズ株式会社 中島研究室 室 長 中 島 誠
2/25 (木)	9:00 ~ 11:00	120 土壌・地下水汚染の対策技術	大成建設株式会社 技術センター 土木技術研究所 所 長 今 村 聰
	11:10 ~ 11:50	40 オンサイト汚染浄化工法の変遷と実際 —技術導入・地盤改良技術の活用・新技術へ—	鹿島建設株式会社 技術研究所 地下水・地盤環境グループ 上席研究員 地盤環境チーム・チーフ 川 端 淳 一
	12:50 ~ 13:30	40 DOG工法によるCVOC汚染土壌の原位置浄化 —浄化技術と施工事例—	株式会社間組 技術・環境本部 環境事業部 環境事業課 修復グループ 課長 秦 浩 司
	13:30 ~ 14:10	40 操業中の工場直下のVOC汚染に対する原位置浄化工法	東急建設株式会社 土木総本部 環境技術部 部 長 遠 藤 修
	14:10 ~ 14:50	40 VOCs、重金属等による汚染土壌・地下水の 原位置浄化技術と事例	清水建設株式会社 エンジニアリング事業本部 土壌環境本部 技術部 部 長 田 澤 龍 三
	15:00 ~ 15:30	30 パネルディスカッション	川端淳一(座長)・秦 浩司・遠藤 修・田澤龍三
	15:50 ~ 16:30	40 ダイオキシン類汚染浄化について 過熱蒸気を用いたダイオキシン類汚染土の 浄化技術の現場適用事例	西松建設株式会社 技術研究所 技術研究部長 稲 葉 力
	16:30 ~ 17:10	40 PCB/DXNs汚染土壌の処理技術と浄化実施例	株式会社鴻池組 東京本店 土木技術部 環境グループ 課 長 中 島 卓 夫
	17:10 ~ 17:50	40 ダイオキシン類汚染対策事例	五洋建設株式会社 土木部門 土木本部 環境事業部 主 任 柳 橋 寛 一
18:00 ~ 18:30	30 パネルディスカッション	稲葉 力(座長)・中島卓夫・柳橋寛一	
2/26 (金)	9:00 ~ 9:40	40 重金属・油汚染浄化について 重金属汚染土の対策事例	株式会社大林組 技術本部 技術研究所 環境技術研究部 副主査 三 浦 俊 彦
	9:40 ~ 10:20	40 廃棄物混じり土の掘削	前田建設工業株式会社 テクノロジーセンター 技術研究所 環境技術グループ チーフ長 芝 本 真 尚
	10:30 ~ 11:10	40 油汚染土壌浄化事例	株式会社大林組 エンジニアリング本部 環境技術第二部 課 長 石 川 洋 二
	11:10 ~ 11:50	40 油含有土壌への原位置洗浄適用事例	株式会社竹中土木 環境エネルギー本部 部 長 白 井 克 巳
	12:00 ~ 12:30	30 パネルディスカッション	石川洋二(座長)・三浦俊彦・芝本真尚・白井克巳
	13:30 ~ 15:00	90 建設工事と土壌・地下水汚染対策	独立行政法人土木研究所 つくば中央研究所材料地盤研究グループ 主任研究員 森 啓 年
	15:00 ~ 15:10	閉講式	

※教科目及び講師等につきましては変更になることがあります。

平成21年度 土壌・地下水汚染対策と浄化事例研修 申込書

(財)全国建設研修センター

ふりがな				年齢・性別	
氏名				満才 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
最終学歴	<input type="checkbox"/> 大学院	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 短大	<input type="checkbox"/> 高専	<input type="checkbox"/> 専門学校
	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> その他	科卒業		
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役職名	<input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 技術	
勤務先	(勤務先名)				
	部 課 Tel				
勤務先種別	<input type="checkbox"/> 国、地方公共団体		<input type="checkbox"/> 機構、旧公団等	<input type="checkbox"/> 技術センター、財団、社团	
	<input type="checkbox"/> 建設業者		<input type="checkbox"/> コンサルタント等	<input type="checkbox"/> その他	
勤務先所在地	〒 -				
研修経費納入方法	研修会費	<input type="checkbox"/> 振込	<input type="checkbox"/> 持参	宿泊費	<input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 持参
前日宿泊(2月23日)	希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない				

◎ 前日宿泊を希望(□する □しない) 該当する項目を☑してください。

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修業務を円滑に実施するために利用するもので、それ以外の目的では利用いたしません。

<土壌・地下水汚染対策と浄化事例研修>

受講者派遣機関名

〒 - Tel

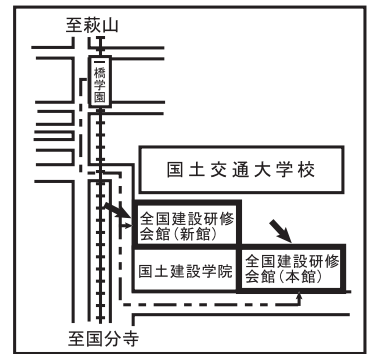
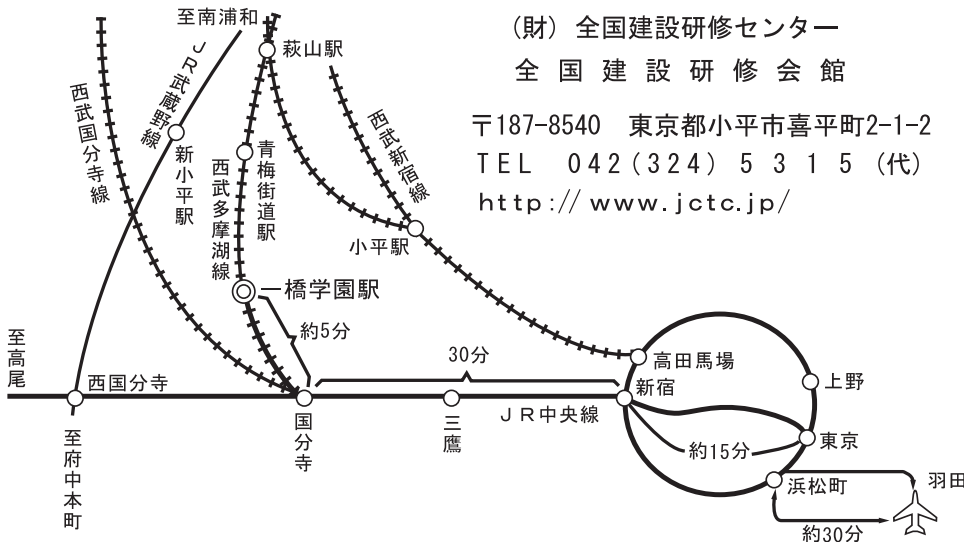
所在地

派遣事務担当者

所属・氏名

キリトリセン

< 研修場所 >



交通機関
【J R】中央線「国分寺」駅乗換
【私鉄】西武多摩湖線「一橋学園」駅下車徒歩8分
タクシーを利用される場合
J R中央線「国分寺」駅より約10分
西武新宿線「小平」駅より約10分
J R武蔵野線「新小平」駅より約10分

【参考】平成21年度、当センターが実施いたしました土質・土壌部門の研修は次のとおりです。

研修名	※対象者	日数	研修初日	研修会費(円)
地質調査—調査・解析・対策について—	一般	4	4/21(火)	78,000
土質設計計算—構造物基礎の演習—	一般	4	9/29(火)	75,000
土壌・地下水汚染対策と浄化事例	一般	3	H22 2/24(水)	69,000

※「行政」… 国及び地方公共団体、機構、旧公団、公社等の職員を対象とした研修

※「一般」… 行政、民間の職員を対象とした研修

平成22年度に実施する研修の実施計画についてはホームページで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>